

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	なし
	オプショナル		年齢	なし	性別	なし
覚醒	命令	衝動	加虐	初期侵食率	35	%
出自	使命	経験	喪失	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	2	0	0			2	行動値	15
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	15
精神	4	0	3		4	11	戦闘移動	20
社会	1	0	0		1	1	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	3		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
抹消指示式	射撃	11r+10		3		抹消指示式: コントロールソート/アタックプログラム[Lv5]/コンセントレイト[Lv2]/拳銃使用/C値8/侵食量4
		0				「――演算完了。抹消指示式(プログラム)展開します」
抹消指示式 ver2.0	射撃	11r+12		3		抹消指示式 ver2.0: コントロールソート/アタックプログラム[Lv6]/コンセントレイト[Lv3]/拳銃使用/C値7/侵食量4
		0				「――演算完了。抹消指示式 ver2.0 残滓すら消しましょう」

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
拳銃		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス
		Dロイス: 実験体(ロストナンバー)	P	N	
		霧谷 雄吾	P 好奇心	N 侮蔑	
		主人(喪失より)	P 遺志	N なし	
		ジャーム全般(使命より)	P なし	N 恐怖	
		ホワイト	P 尊敬	N 嫌悪	
		黒沢 寧 タイタス	P 庇護	N 不信任	
		鷹坂 龍	P 感服	N 嫉妬	
		最大財産P:	2	残り財産P:	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1						RB	
効果:	衝動判定に+[Lv個]ダイスを増やす							
オリジン:サイバー	1	2					RB	
効果:	【社会】を使用した判定の達成値を+[Lv×2]							
コンセントレイト	3	2						
効果:								
アタックプログラム	5	2	メジャー	武器	-	〈射撃〉	-	
効果:	命中判定の達成値に+[LV×2]							
MAXボルテージ	2	4	メジャー	-	-	-	80%↑	
効果:	ダメージに+10、しかしダイスを-1個。1シナリオにLv回							
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	〈意思〉	-	
効果:	全ての〈情報:〉代わりに使える。ダイスを+[LV]個する							
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	〈射撃〉	-	
効果:	この判定を組み合わせた〈射撃〉判定を【精神】で代用							
ブラックマーケット	2	-	常時	至近	自身	-	-	
効果:	常備化ポイントを+[Lv×10]点							
戦術	5	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	-	-	
効果:	対象がラウンド中に行うメジャーダイスを+LV個する。このエフェクトは自らを対象に出来ない。							
雷の残滓	5	2	メジャー	武器	メジャー	〈射撃〉	-	
効果:	命中した場合【邪毒】を与える。							
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	対象が判定を行った直後に使用、判定の達成値を+[LV*3] 1ラウンドに1回							
妨害排除	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象が判定を行う直前に使用、対象が受けているダイスを減少させる効果を受けない。1シナリオにLV回まで。							
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	戦闘不能時に使用、行動済みでもメインプロセスを行う。終了すると戦闘不能を適用。1シナリオに1回							

サクはゴミ箱で生まれた。
嘘ではない。比喩でもない。本当にゴミ箱で生まれたのだ。
指示式の中、2次元で生まれ、3次元に飛び出た。
目の前にあったのは赤だった。正確に言えば朱股。つまりは血の色だ。
サクを生み出した主人は、サクが生まれ出でる間に、殺されていた。
既に助かる見込みもなかった。最後に何かを吐く。「ジャーム」という単語と「殺せ」という単語。それだけだった。
最初の指示式(プログラム)だった。回路にしっかりと焼き付ける。
「ジャームを消去する」それが使命。

パソコンのゴミ箱のプログラムから生まれたレネゲイドビーイング。人間の体はしているが、性別は存在していない。
自らは偶然に生まれたと思っているが、実際は「プログラムを使って人工的にレネゲイドビーイングを作れるか」という実験の産物である。
実験は成功したが、直後ジャームの襲撃を受け、研究員は全員殺害されている。
普段はもとの姿に戻り、ネットの世界に入り浸っている。
ジャームを殺す事だけに執着している。それが指示式だからだ。
そこに自らの意思はない。命令されたから。それが使命だから。
だから躊躇はしない。……そうしないのだ。命令なのだから、使命なのだから。——そういう、プログラムなの、だから。

UGNに対しての感情はツラナイである。ジャームをチマチマと殺すだけで、叩き潰さない。
サクにとってはジャームを殺せばいいので、街ごと消してもかまわないのではという思考を持っている。
流石に、自分がジャーム殺しを出来なくなるのは嫌なので、控えている。

使命が変わった。それはつまり、彼の性質変化に通じる。

